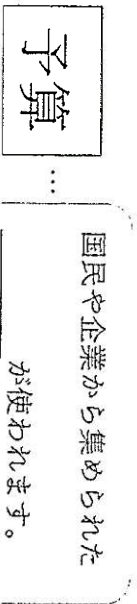


先週は、災害時の「市」や「県」、「国」の取り組みについて学習しましたね。今回は、その続きの内容です。教科書をよく読んで取り組みましょう。

☆教科書 P51 を読んで書きこみましょう。

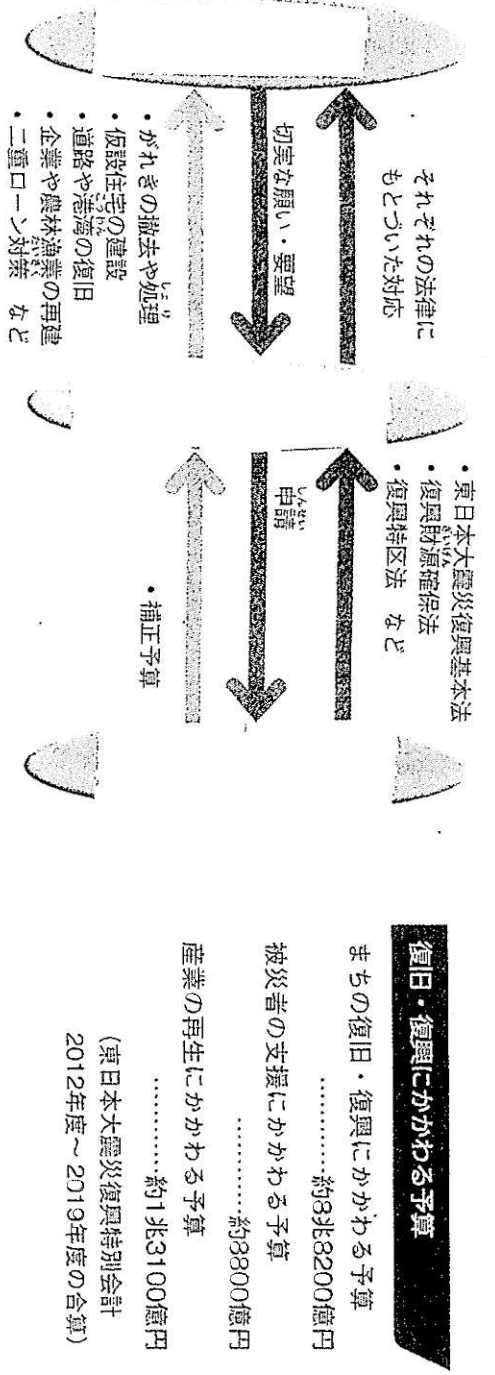
東日本大震災直後、国は、必要な _____ をすみやかに制定したり、特別な _____ を立てたりして、被災地の支援を行います。これを受けて、県や市は具体的な取り組みを行うことができるのです。



税金は、国民の生活がよりよくなるように使われている！

- 【税金のはたらき】
- ・ 所得税...働く人の収入から
 - ・ ()...ものを買ったときにかかる税金
 - ・ 法人税...会社のもうけにかかる税金
 - ・ ()...東日本大震災の復興に役立てるための特別な税金

☆復旧・復興に向けた政治の動きについて次の表に書き入れ、整理しましょう。



☆復興に向けて、市や市民は、どのような計画を立てて、どのような取り組みをしてきたのでしょうか。気仙沼市の取り組みについて、教科書 P52 を参考にまとめましょう。

やさめの水あげが有名な気仙沼では、水産業なしのまちの復興は考えられません。そこで、市民も参加して、いろいろと話し合い、「 _____ 」を合言葉に、大震災を克服し、新しい気仙沼をつくるための _____ をつくりました。

< 気仙沼市取り組み >

震災復興計画をもとに...

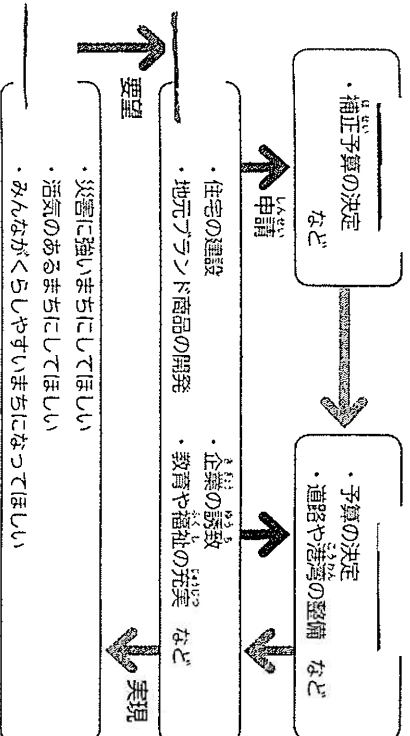
_____、_____の建設などを進めてきました。

市民の意見を県や国に伝えたり、予算や制度を利用して市民の要望を具体的に実現したりするのが市役所の役割です。震災前の状態にもとすだけではなく、災害に強く、水産業という特色を生かした_____に取り組んでいます。

☆震災後数年で気仙沼市にどのようなことがあったでしょうか。教科書P52、53の資料や文章から分かることを書きましょう。

☆気仙沼漁港の人たちは、どのような取り組みをしたらでしょうか。

☆気仙沼市の復興に向けた取り組みの流れについて次の表に書き入れ、整理しましょう。



まとめ

市は震災復興計画を作成し、計画に基づいて、復興に向けた取り組みを行っている。また、市民も国や県、市の支援を受けながら新しいまちづくりに向けて、みんなが協力している。

今日の社会の学習はこれで終わります。次回はこの内容の続きをやりましょう。お疲れ様でした！

これらに向けてどのような課題があり、どのような取り組みが行われているのでしょうか。

☆教科書 P54 を見て、気仙沼市の課題について書きましょう。

【震災後の課題】

- 道路や公共施設の整備
- 住民の新しい住まいの確保
- 水産業の復活
- 観光客を増やす

【震災前からの課題】

☆これからの気仙沼市の新しいまちづくりに向けて、どのような取り組みが行われていますか。教科書 P54 を参考に、くわしく書きましょう。

豆知識

*教科書にある、「ちよいのそぎ」ポスターは、気仙沼の仕事やくらしの魅力を体験できるプログラムで、2015年に不定期に始まったが、2016年は毎月、2017年は毎週開催し、累計6000人以上が参加した。サメの歯のキーホルダー作りや酒蔵の見学、そば打ち体験など内容はバラエティ豊かで、多くのプログラムが満員となる人気になっている。

☆気仙沼市以外にも、様々な市で復旧・復興に向けた取り組みが行われています。教科書 P55 の岩手県陸前高田市の取り組みを読み、次のことについて書きましょう。

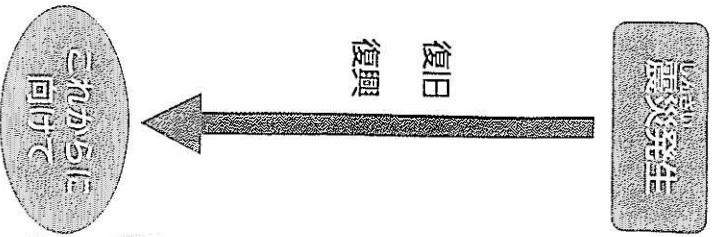
【陸前高田市で行われている取り組み】

【陸前高田市で行われている取り組みを知って感じたこと】

これまでの学習についてわかったことを表にまとめ、整理しましょう。

☆震災復興の願いを実現する政治①～④のプリントで学習した内容を表に整理していきます。教科書やプリントを見てもよいので、これまでの学習をまとめましょう。

人々の願い	政治の働き
<ul style="list-style-type: none"> ・避難する場所がほしい。 ・情報がほしい。 →しばらく電気が通らなかったため、必要な情報はラジオからしか得られなかった。また、震災直後は事実と異なる情報が多く流れた。 ・がれきを取りのぞいてほしい。 ・水道、ガス、電気を復旧してほしい。 ・早く仕事がしたい。 →気仙沼市では、水産業関連の仕事が多く、魚市場が再開するまでに仕事に就けないことが多かった。また、仮設の店舗ができるまでに時間がかかった。 ・道路を直してほしい。 ・家を建て直して、もとの場所に住みたい。 ・災害に強いまちにしてほしい。 ・活気あるまちになってほしい。 →震災後、多くの人が被災地に移住し、多方面にわたってまちの復興のために力を尽くされている。現在も全国各地から義援金や励ましのメッセージが届けられている。 	<p>【国は…】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ _____ の設置 ・ _____ の派遣 ・ 他国への _____ ・ 緊急消防援助隊の派遣 ・ _____ の成立 ・ 法律の成立 <p>など</p> <p>【県は…】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ _____ 収集 ・ _____ の派遣要請 ・ _____ 法を適用し、救助活動の支援 <p>など</p> <p>【市は…】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ _____ 本部の設置 ・ _____ の確認 ・ 救助活動の実施 ・ 県やほかの市への応援要請 <p>など</p> <p>【国や県の決定した予算に基づき…】</p> <p>市は、市民の要望を具体的に実現するために、 _____ をつくり、まちづくりを進めている。</p>



☆災害から復興に向けた政治の働きについて整理したことをもとに、まちづくりを進めていくうえで大切なことは何か、自分の考えを書いてみましょう。

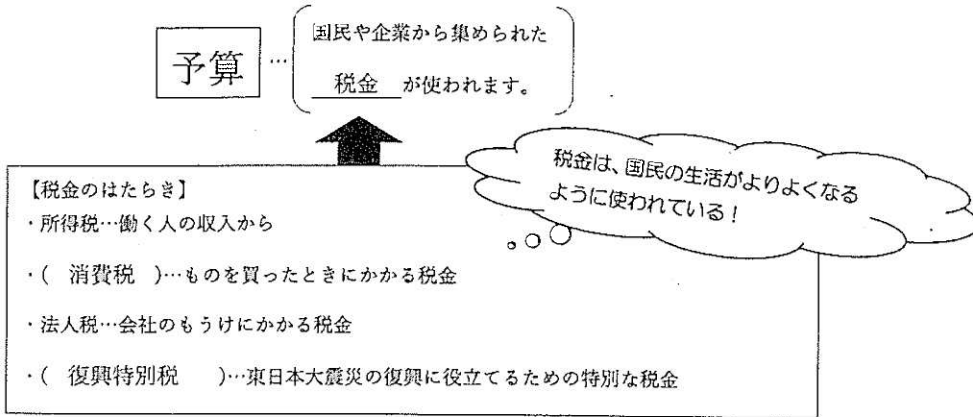
震災復興の願いを実現する政治③

6年 組()

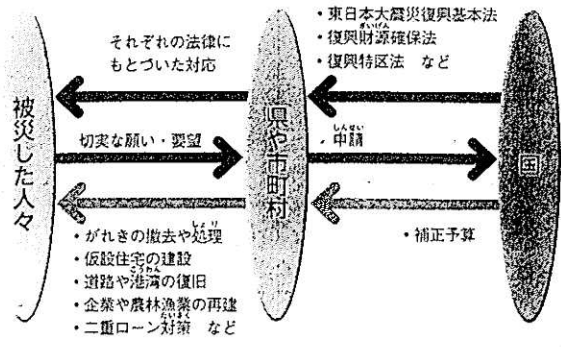
先週は、災害時の「市」や「県」、「国」の取り組みについて学習しましたね。今回は、その続きの内容です。教科書をよく読んで取り組みましょう。

☆教科書P51を読んで書きこみましょう。

東日本大震災直後、国は、必要な 法律 をすみやかに制定したり、特別な 予算 を立てたりして、被災地の支援を行います。これを受けて、県や市は具体的な取り組みを行うことができます。



☆復興・復興に向けた政治の働きについて次の表に書き入れ、整理しましょう。



☆復興に向けて、市や市民は、どのような計画を立てて、どのような取り組みをしてきたのでしょうか。気仙沼市の取り組みについて、教科書P52を参考にまとめましょう。

かつお やさめの水あげが有名な気仙沼では、水産業なしのまちの復興は考えられません。そこで、市民も参加して、いろいろと話し合い、「海と生きる」を合言葉に、大震災を克服し、新しい気仙沼をつくるための 気仙沼市震災復興計画 をつくりました。

<気仙沼市取り組み>

震災復興計画をもとに…

- ・ 住宅や道路、橋の整備、新しい魚市場 の建設などを進めてきました。

市民の意見を県や国に伝えたり、予算や制度を利用して市民の要望を具体的に実現したりするのが市役所の役割です。震災前の状態にもとずだけではなく、災害に強く、水産業という特色を生かした まちづくり に取り組んでいます。

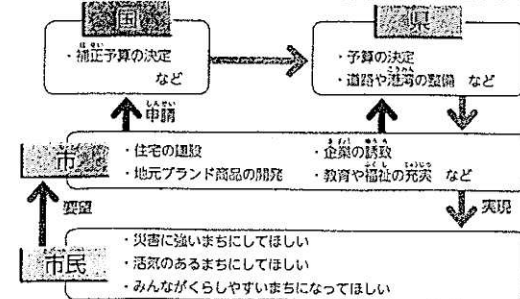
☆震災後数年で気仙沼市にどのようなことがあったでしょうか。教科書P52、53の資料や文章から分かることを書きましょう。

- (例)
- ・ 復興商店街がオープンした。
 - ・ 気仙沼大島大橋が開通した。
 - ・ BRTが運行を開始した。
 - ・ 「海っ市」が全館再開した。
- など

☆気仙沼漁港の人たちは、どのような取り組みをしたでしょうか。

- (例)
- ・ 対策本部をつくり、復興に努力した。
 - ・ 3カ月で生鮮かつおの水あげを再開した。
- など

☆気仙沼市の復興に向けた取り組みの流れについて次の表に書き入れ、整理しましょう。



まとめ

市は震災復興計画を作成し、計画に基づいて、復興に向けた取り組みを行っている。また、市民も国や県、市の支援を受けながら新しいまちづくりに向けて、みんなで協力している。

これからに向けてどのような課題があり、どのような取り組みが行われているのでしょうか。

☆教科書 P54 を見て、気仙沼市の課題について書きましょう。

【震災後の課題】

- ・道路や公共施設の整備
- ・水産業の復活
- ・住民の新しい住まいの確保
- ・観光客を増やす

【震災前からの課題】

気仙沼市の人口が減少していること

☆これからの気仙沼市の新しいまちづくりに向けて、どのような取り組みが行われていますか。教科書 P54 を参考に、くわしく書きましょう。

【例】

- ・「ちよいのぞき」ポスターや「漁師カレンダー」を作り、漁業を生かした観光メニューの充実に取り組み、市の魅力を発信している。
- ・気仙沼に移り住むことを考えている人をサポートするために仕事や空き家、イベントなどの情報を提供する気仙沼市移住・定住支援センターがある。

など

互知識

※教科書にある、「ちよいのぞき」ポスターは、気仙沼の仕事やくらしの魅力を体験できるプログラムで、2015年に不定期に始まったが、2016年は毎月、2017年は毎週開催し、累計6000人以上が参加した。サメの歯のキーホルダー作りや酒蔵の見学、そば打ち体験など内容はバラエティ豊かで、多くのプログラムが満員となる人気になっている。

☆気仙沼市以外にも、様々な市で復旧・復興に向けた取り組みが行われています。教科書 P55 の岩手県陸前高田市の取り組みを読み、次のことについて書きましょう。

【陸前高田市で行われている取り組み】

- ・復興支援米「たかたのゆめ」をブランド米にしようという取り組みを進めている。
- ・2017年には、かさ上げした土地に大型商業施設が完成し、図書館や公園が作られ、市民が交流できる場所がもどってきている。

など

【陸前高田市で行われている取り組みを知って感じたこと】

(略)

これまでの学習についてわかったことを表にまとめ、整理しましょう。

☆震災復興の願いを実現する政治①～④のプリントで学習した内容を表に整理していきます。教科書やプリントを見てもよいので、これまでの学習をまとめましょう。



人々の願い	政治の働き
<ul style="list-style-type: none"> ・避難する場所がほしい。 ・情報がほしい。 →しばらく電気が通らなかったため、必要な情報はラジオからしか得られなかった。また、震災直後は事実と異なる情報が多く流れた。 ・がれきを取りのぞいてほしい。 ・水道、ガス、電気を復旧してほしい。 ・早く仕事がしたい。 →気仙沼市では、水産業関連の仕事が多く、魚市場が再開するまでに仕事に就けないことが多かった。また、仮設の店舗ができるまでに時間がかかった。 ・道路を直してほしい。 ・家を建て直して、もとの場所に住みたい。 ・災害に強いまちにしたい。 ・活気あるまちになってほしい。 →震災後、多くの人々が被災地に移住し、多方面にわたってまちの復興のために力を尽くされている。現在も全国各地からボランティアや助金のメッセージが届けられている。 	<p>【国は…】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急災害対策本部の設置 ・自衛隊の派遣 ・他国への救助要請 ・緊急消防援助隊の派遣 ・予算の成立 ・法律の成立 <p>など</p> <p>【県は…】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・自衛隊の派遣要請 ・災害救助法を適用し、救助活動の支援 <p>など</p> <p>【市は…】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部の設置 ・被害状況の確認 ・救助活動の実施 ・県やほかの市への応援要請 <p>など</p> <p>【国や県の決定した予算に基づき…】</p> <p>市は、市民の要望を具体的に実現するために、<u>震災復興計画</u>をつくり、まちづくりを進めている。</p>

☆災害から復興に向けた政治の働きについて整理したことをもとに、まちづくりを進めていくうえで大切なことは何か、自分の考えを書いてみましょう。

(例) 震災前の状態にもとずだけでなく、まちの特色を生かしながら災害に強いまちづくりに取り組むことが大切。など